



かとうかなこの

アコーディオンラウンジ

フレンチ・アコ meets Café Concert



2010年

2月20日(土)

開場13:30 開演14:00

チケット発売日

12月14日(月)

9:00 窓口販売開始
10:00 電話予約開始

出演 かとうかなこ(クロマチック・アコーディオン)
笹子重治(ギター) 大森ヒデノリ(フィドル/マンドーラ)

チケット 2,000円(税込、全席指定)

電話予約 きゅりあんチケットセンター 03-5479-4140

※電話予約での座席の指定はできません。あらかじめご了承下さい。
※発売初日はお一人様6枚まで
※託児はございません。

フランスに学び、コンクールで優勝するなど
大活躍のクロマチック・アコーディオン奏者、かとうかなこ。
ギターやフィドル、マンドーラの伴奏と共に、
あこがれの「パリの街角」を再現します。

LA POSTE



99466



JOUR FETE

主催 S 品川文化振興事業団 企画・制作 サントリーパブリシティサービス株式会社

問合せ きゅりあんチケットセンター 03-5479-4140





かとうかなこ ▶ クロマチック・アコーディオン

<http://www.katokanako.com/>

大阪府豊中市出身。
4歳から父親の手ほどきを受けアコーディオンをはじめ。17歳にしてアコーディオンコンクール総合優勝を果たす。高校卒業後フランスに渡り、4年の留学中「全仏コンクール」でも第1位を獲得する。ソロアルバムを5枚リリース。アルバムの楽曲は、多くのテレビ番組で取り上げられている。
自らの感情を委ねるように、蛇腹と呼吸を合わせながら風景の浮かぶ演奏を続けている。80歳を過ぎても演奏し続ける事が目標。楽器たちには、愛称をつけステージでもメンバーとして紹介している。

クロマチック・アコーディオン

日本で主流のアコーディオンと言えば右手にピアノと同様白と黒の鍵盤のある物に対しヨーロッパ特にフランスではこのクロマチックアコーディオンという左右合わせて200ほどの小さなボタンの並んでいる物が主流です。コンパクトなボディの中にものすごく沢山の音が埋め込まれており多彩な表現が可能な楽器です。



ピエコ
PIERMARIA
PRODIGEPLUS



によろきち
CAVAGNOLO



おばあちゃん
SCANDALLI



こびえ
ちびアコ



笹子重治

▶ ギター

www.sasa-g.com

1958年、神戸市生まれのギタリスト。86～87年にかけてブラジルで活動し、帰国後ショーロクラブを結成、リーダーとして、ソニー・ミュージック、キングレコード等から22枚のアルバムを発表する等の活動のかたわら、J-POPから民謡まで数多くのアーティストのプロデュースやサポート、レコーディング、アレンジ等で活躍中。プロデュースやサポートを中心としたコラボレーション、特に、ギター一本によるアーティストとのデュオによるパフォーマンスには、定評がある。

ブラジリアン・ギター

ブラジルは、ギター音楽の宝庫です。サンバやショーロなどの都市音楽で最も良く使われるのは、普通のクラシックギターですが、低音弦を一本増やした7弦ギターや、内部構造を強化して3弦より下をスティール弦にしたものなども、よく使われます。田舎に行くと、ギターの直接の先祖である古楽器「ピウエラ」と類似のものが、今でも普通に使われていたりします。



大森ヒデノリ

▶ フィドル / マンドーラ

<http://www.omorihidenori.com/>

スウェーデンやアイルランドの伝統音楽に欠かせないフィドル奏者としては国内屈指の存在。これまでに数々の北欧、ケルト音楽のトップ・プレーヤーとコンサートや音楽祭で共演。2007年8月にファースト・アルバム『白夜弦想』をリリース。おそらく邦人初の本格的な北欧のコンセプトアルバムとして高い評価を得ている。また2008年1月～3月にオンエアされたTBSドラマ『エジソンの母』のサウンドトラックにアイルッシュ・フィドル奏者として参加するなど、活躍の場を広げている。

フィドル

「ヴァイオリンは歌う、しかしフィドルは踊る」と言われるフィドル。ヴァイオリンと同じ構造ですが、舞踏の伴奏など民族・大衆音楽で使用される場合にこの名称が使われます。



マンドーラ

大型マンドリンとも言われ、1960年代のフォークリバイバル以降、マンドリン、ブズーキなどと共に、アイルランドや北欧の伝統音楽で使用されるようになった楽器です。



「カフェ・コンサール (Café Concert) シリーズ」とは…

クラシックやジャズを中心として世界中で活躍している、今が旬の若いアーティストを招き、舞台と客席が近い「小ホール」で、お客様と密接な空間を作ります。

「280席で聴く贅沢」でもある本企画では、公演終了後に「サイン会」や「懇親会」など可能な限り開催し、区民の方々との交流も図っていきます。

品川区立総合区民会館きゅりあん 1F 小ホール (大井町駅前)
<http://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/index.html>

